

Title	【学会記事】非会計情報の開示の意義と開示規制のあり方
Author(s)	藤井, 秀樹
Citation	経済論叢 (2004), 173(3): 83-83
Issue Date	2004-03
URL	http://dx.doi.org/10.14989/45624
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

經濟論叢

第 173 卷 第 3 号

啓蒙と野蛮	田 中 秀 夫	1
混合寡占における 環境税と戦略的コミットメント	大 堀 秀 一	25
PFI病院プロジェクトとFMサービス	杉 浦 勉	37
科学論の変遷と問題としての实在論	山 本 泰 三	58
金融変数と企業の設備投資との 因果性検定 (2)	玄 錫 元	73

学 会 記 事

平成16年 3 月

京 都 大 学 經 済 學 會

〔京都大学経済学会役員〕 (五十音順)

評議員長 評議員	下赤依稲久	谷岡田葉保城	政 高久幸秀武和宏	弘功典子生樹和弘幸広弘行弥明宏文孝健生洋朗尋生夫丈詔	田德中中成西根日曳久藤古堀松文本森諸八山遊吉若若	中賀島野生田村井置野本井川井山棟富木本喜田林林	秀芳康一達祐周雅弘憲秀和啓世美公紀裕一和直靖	夫弘彦新彦二三弘郎孝夫樹顯生之一彦夫徹郎美フ洋男樹永
(学会委員)					(学会委員)			
(学会委員)					(監査委員)			
(監査委員)					(学会委員)			
(学会委員会 副主 任)					(学会委員会 主 任)			

——既 刊 目 次——

第173巻 第2号

ビグーのマクロ経済理論の基礎と ホートリーのビグー批判(2)	小 島 専 孝
地下水保全税の制度設計(2)	川 勝 健 志
占領期における アメリカ企業のドイツ企業買収に対する アメリカ国務省の対応	河 崎 信 樹
ライオネル・ロビンズと効用の個人間比較	木 村 雄 一
特殊鋼企業における生産と販売の統合	仙 田 直 行

【学会記事】

非会計情報の開示の意義と開示規制のあり方

2003年11月21日、日本銀行金融研究所の古市峰子氏を迎え、研究集会を開催した。古市氏は、企業会計、国際会計、公会計などの研究を手がけ、これまで多数の研究成果を発表してこられた。本研究集会では、非会計情報の開示問題に焦点を当てた近年の研究成果を、古市氏に披露して頂いた。参加者は19名、うち学外研究者は4名であった。

古市氏は、財務諸表（注記を含む）以外で提供される情報（たとえばプロフォーマの利益など）を非会計情報と定義したうえで、非会計情報の開示において経営者の裁量をどこまで認めるのが妥当かという問題について検討を行った。非会計情報開示の投資家にとっての意義・問題点や経営者による自発的開示のインセンティブに関する実証結果等を踏まえると、(1) 情報ネットワーク化やソフト化といった近年の経済環境において投資家による業績評価や意思決定にとって重要性が高く、かつ会計情報と補完関係にある非会計情報については、市場規律とのバランスをとりつつ、一定の範囲で会計規制の枠組みに取り込むことが妥当であるが、(2) その場合の規制のあり方としては、基本的には任意開示が望ましく、一定のものについて強制開示を要求する場合であっても、その具体的な方法や内容については経営者の裁量に委ねつつ、信頼性を高める措置を同時にとるといった方向性が望ましいと、古市氏は主張された。古市氏のかかる主張に対しては、どのような非会計情報が開示規制の対象となるのかといった問題についての判断が難しく、結局はその時々々の経済状況等を勘案しつつ、規制主体が個々に判断していくということになるのではないかといった意見が、参加者から提出された。

（藤井秀樹）

趙彦雲中国人民大学教授講演会の報告

2003年12月20日、京大会館215号室において、趙彦雲中国人民大学応用統計科学研究中心教授の講演会を経済統計学会関西支部との共催で開催した。約40名の参加があり、大変興味深い報告を受け、熱心な意見交換をすることができた。

ここでの趙教授の報告は「国際競争力指標体系の発展と応用」というもので、以前に

は中国統計学界で「総合国力評価」という名称で研究がなされていたものである。今回は、2001年からスイスの機関が開始した国際競争力評価体系の成果も使いながら、新たな提案・研究動向の紹介が行われた。具体的には、国際競争力研究の発展過程、国際競争力統計指標体系の現状、国際競争力指標体系の設計、国際競争力の方法論的研究の紹介、国際競争力の社会統計の発展に対する影響、中国国際競争力分析の応用、中日韓都市競争力研究の紹介が報告された。

討論となった点は以下のようなものであった。「ランキング」に拘る指標体系作りへの中国の特別の関心は経済発展の特殊な段階のものではないか、進化経済学などの影響があるようだがもっとマルクス理論に即した指標体系づくりはできないものか、たとえば生産力の規定性を重視した GDP の水準やその成長率を中心的指標と位置づけるべきではないか、「就業」や「価格」という指標でのランキングは具体的にはどのような計算として行われているのか、などであった。各国統計学は各国独自の関心からテーマ選択をしており、研究の蓄積も異なるために意思疎通には障害も大きい。が、ますます重要性を増す隣国中国の統計学の動向にわれわれは無関心でいるわけにはいかない。引き続き交流の重要性を再確認した研究会であった。

(大西 広)

執 筆 者 紹 介 (掲載順)

田 中 秀 夫	京都大学大学院経済学研究科教授
大 堀 秀 一	京都大学大学院経済学研究科学生
杉 浦 勉	京都大学大学院経済学研究科学生
山 本 泰 三	京都大学大学院経済学研究科学生
玄 錫 元	京都大学大学院経済学研究科学生

会員各位へ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内
京 都 大 学 経 済 学 会
振替口座01090-6-17219番

1. 会費年額 10,000円 (前納)

1. 会員各位の現住所、氏名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。

※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

平成16年2月25日印刷
平成16年3月1日発行

編 集 兼
発 行 人

京 都 大 学 経 済 学 会

印 刷 所

内 外 印 刷 株 式 会 社
京都市南区吉祥院池田南町13

発 行 所

京 都 大 学 経 済 学 会
606-8501 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
振替口座01090-6-17219番

発 売 所

株 式 会 社 有 斐 閣
101-0051 東 京 都 千 代 田 区 神 田 神 保 町 2-17
京 都 支 店 606-8225 左 京 区 田 中 門 前 町 44

ISSN 0013-0273

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 173, No. 3

March 2004

CONTENTS

Enlightenment and Barbarism..... *Hideo TANAKA*

Pollution Tax and the Strategic Commitment
in a Mixed Oligopoly..... *Shuichi OHORI*

PFI Hospital Project and FM Service
—A Study on Dartford PFI Hospital Project — *Tsutomu SUGIURA*

Transition of Science Studies and Realism as Problem..... *Taizo YAMAMOTO*

Granger Causality Test between Financial Factor
and Corporate Investment (2) *Suk Won HYUN*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)